

わたしたちが、美濃加茂市のオススメを紹介しします。

特命・みのかも発掘調査隊

昨年度、市内の観光名所をPRする目的で、5種類の観光ランチョンマット(紙製)を作成しました。
今回は、子どもの目線と手によって、ふるさとの魅力を再発見してもらおうと、14人の小学生を「みのかも発掘調査隊」に任命しました。大人とは異なる視点で、新しい観光ランチョンマットを作成したのでご紹介します。



隊員全員がそれぞれ自分が掘り出した場所や物などを絵にしました。

今泉三ツ池



歩いて調査

加茂野の隠れた名所



市のバス「ふるさと号」に乗って調査しました

▲車中でいろいろとみんなで話をしました

新たな試み

一般的に「観光」は市外からのお客さんを対象にしていますが、今回は市民の皆さんが対象です。
・市民が誇りに思えること
・身近なものと感じる事
・自慢できるものを再発見すること

この3つのキーワードをもとに、これまでのような、限られた場所を見て回るだけのものではなく、まず市民の皆さんが楽しみ、身近な場所や日常にある光景の「素晴らしさ」を再発見することで、誇りを持って大切にしてもらおうとするものです。

市民の誇りの掘り出し

決して有名ではないけど、そこに住む人にとっては心よりどこを「誇り」になっているものを見付け出そうということで、市内8地区ごとに考え、その中からそれぞれの心よりどこを探し出し、市民の皆さんに知らせることにしました。

ランチョンマット

食卓において、皿やナイフ・フォークなどを載せるために使われる小さな敷物全般をいい、紙製や布製のものが代表的です。

誰でももてなす手

何でも調べる目

楽しく伝える口

どこへでも出掛けて探す足



みのかも発掘調査隊 隊長 あっ君 イメージキャラクター

調査隊員の活動

8月11日(月)

全隊員を3つのグループに分け、各自が考えてきた場所を発表しました。

8月19日(火)

隊員たちが選んだ場所を実際に回り、見学や体験をしました。

山之上観光果樹園
(ナシ狩り体験)

昭和銭湯里山の湯
(足湯体験)

瑞林寺(住職から説法を聞き、蜂屋大仏などを見学)

榊モンテール美濃加茂工場
(工場見学と試食体験)

今泉三ツ池(見学)

太田宿中山道会館(見学)

8月20日(水)

調査した場所を絵に描き発表しました。

▶榊モンテール工場見学



へえ〜こんなふうにお菓子ができるとだ

榊モンテール

▶蜂屋大仏の前で



瑞林寺

大仏は土の中から発見されたそうだよ

◀住職から説明を聞く



金ピカきれいだね!

▲試食をしないと味が分かりません



とってもおいしいよ

レストランからヒント

探し出した情報をどのように知らせるか、これまでのような観光パンフレットでいいのか、誰もが手軽に見ることが出来るもので紹介したい。そんな思いから出たアイデアがランチョンマットでした。ヒントになったのは、レストランなどでよく見る紙製の敷物です。食材の産地の説明が記されているものや、塗り絵遊びができるもの、迷路が描かれているものなど、料理が運ばれてくるまでの時間を退屈させないような工夫がなされています。

その紙に知られざる名所を描いたら面白いのではないかと発想です。

独自色を出したい

観光パンフレットのように写真と解説記事で構成されたものではこれまでと何も変わりありません。

独自色を出すために、あえて写真は使用せず、イラストを多く使用して、遊び心いっぱいのものでしました。こうして生まれたのが「観光ランチョンマット」です。

発掘調査隊に出動命令が

これまでに「観光ランチョンマット」は地区ごとに話題や場所を選定し、5種類作成しました。

今回は、これまでと視点を変えて、より親しみが持てるように、市内の小学生に、実際に見て聞いて描いて「子どもが描くランチョンマット」の作成を企画しました。

そこで、「みのかも発掘調査隊」を結成し、イメージキャラクターの「あつ君」を隊長にして、隊員の募集をしたところ、14人の有志が名乗りを上げて、この企画に参加してくれました。

学校も学年も異なる子どもたちは夏休みを利用して、各自で考え、みんなで話し合い、計画を立て、実際に見て回ったり体験したりして、発掘調査をしました。そして調査結果を絵で表現し、ランチョンマットの下地を作りました。隊員たちの成果は、今後はいろいろなお店で皆さんの目に留まることと思います。これを機会に、それぞれの美濃加茂市の誇りを掘り出してみてください。